



風立ちぬ

つよく
かしこく
あたたかく

立川中学校通信 第7号
平成30年7月13日(金) 発行

体験活動から得られる貴重な学び

立川中学校には特色ある多くの体験活動があります。体験活動からは、自然や社会や人々との直接の関わりを通して、普段、教室での学習ではできないことを学べます。

体験活動の意義は、次の3つがあると考えています。

①学びを実感し、納得する。

感動したり、驚いたり、戸惑ったりしながら、五感を伴った実感や納得のある学びができます。

②社会性と豊かな人間性を育む。

対象と関わることで、今の生活を含めた地域社会での人としての振る舞い方や生き方を学ぶことができます。

③思考力判断力表現力の基礎を作る。

体験したことや感動したことを人に伝えたいくなります。人に伝えることで言いたいことが整理されます。人との関わりから新たな気づきがあり、学びが深まります。

7月各学年の体験活動

7/11羽黒古道を歩く(1年)



雨の羽黒古道

雨の中、古の出羽三山詣の表参道である羽黒古道を登り、羽黒山、立川地域の学習をしました。

地域を知る活動を通して、立川の文化や自然に興味を持ち、自己の生き方に役立てることと仲間との触れ合いからより良い集団づくりが目的です。

7/11南三陸町訪問(2年)

友好都市南三陸町を訪問し、社会について視野を広げ、自分の生き方について考えを深めることを目的とする学習です。

復興住宅では立中2年生の真剣で一生懸命な合唱「最上川舟唄」を披露しました。住民の方々は感動し、目頭を押さえていました。



お世話になった三浦課長へお礼の合唱

7/10~12 職場体験(3年)

職場体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを知り、職業・勤労についての関心を高めるとともに、人は何のために働くのかを考えます。将来、職業人として積極的に社会にかかわり、生きがいのある人生を築こうとする意欲態度を育てることが目的です。



職場体験 石垣農園

今後の体験活動

今後、次の特色ある体験活動が計画されています。

山水園訪問(1年)

あかね訪問(2年)

浴衣教室(3年)

和楽器教室(1・2年)

修学旅行(2年)

狩幼保育交流(3年)

7/18浴衣教室(昨年の写真です)

体験活動は、保護者の協力、地域との連携、教育委員会の支援があつてこそできることです。関係の皆様にあたたためて感謝申し上げます

文武両道の実現には生活習慣の確立を！

庄内町PTA連合会全体研修より



小澤治夫氏

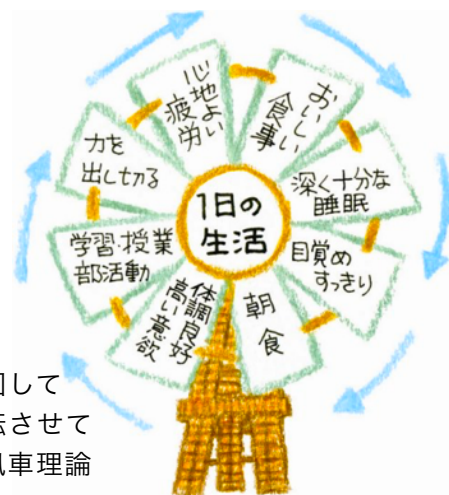
7月8日（日）静岡産業大学の副学長 小澤治夫氏の講演が余目第二公民館で行われました。内容は、「子どもに生きる力を育むための生活習慣づくり」と題し、先生のこれまでの教師としての経験と研究データに基づく、説得力のある有意義なお話を頂きました。参加できなかった方のために、内容を掲載し、紹介します。

《規則正しい生活習慣》

早起きし、朝食をしっかりと食べれば、学習意欲も出るし、体力も出る。いい加減な生活もしなくなる。2時間1ユニット、部活にも家庭学習にも集中し、一生懸命取り組む。しかし、やりすぎは良くない。遊びも含めた多様な経験をしたほうがいい。力を出し切れれば、心地よい疲労から、食事もおいしくなるし、眠りも深くなる。そして、目覚めめすっきり。以下に示すのは文武両道を実現する8ヶ条です。これを回すのが風車理論です。

《文武両道を実現する8ヶ条》

- 一 朝食を毎日しっかりと食べる
- 二 毎朝、排便がある
- 三 遅刻をしない
- 四 学校で眠くならない
- 五 体をしっかりと動かす
- 六 毎日勉強は2時間、
(ケータイ・スマホは1時間以内)
- 七 風呂（湯船）に入る
- 八 睡眠は7時間しっかりとる



これらを回して
日々を好転させて
いくのが風車理論

さらに、データをもとに、以下のお話もありました。

※中学校の部活動、週16時間以上超えると怪我が急増

※筋肉を使う→インターロイキン6が出る→海馬に好影響→記憶力が良くなる

※寝る子は海馬が10%も大きい

文武両道の極意は、「規則正しい生活習慣」と「自己管理能力の高さ」です。

星に願いを

全校生徒の夢や目標を短冊に

全校生徒が、夢や目標を短冊に書いて、竹に吊るしました。

7月7日の夜は曇りで、天の川を見ることができませんでしたが、晴れた日に、天の川や夏の第三角を探してみてもいいでしょうか。今年はこの時期に4つの惑星（金星、木星、土星、火星）が西から東にかけて勢揃いしています。「宇宙の窓」に夏の星空の展示をしています。保護者の皆様も、保護者面談の時にぜひご覧ください。



「宇宙への窓」に設置した七夕飾り

文責：校長 中里 浩也